

3. 西部地区

緑の目標・方針

金峰山や有明海等の恵まれた自然の中で、豊かな緑と暮らしがともにある街を創ります。

＜緑の配置方針＞

○（北東区域）森の都の背景となる緑づくり

森の都の背景となる金峰山東麓や*ランドマークとなる山々の樹林地、麓に点在する史跡等を保全・活用し、歴史文化に彩られた緑の街を創ります。

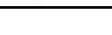
○（北西区域）みかんの里の緑づくり

金峰山周辺と一体となった自然景観の保全・活用に努め、古い港や湾岸国道沿いの緑化を推進し、みかんの香り漂う緑の街を創ります。

○（南区域）海の玄関口の緑づくり

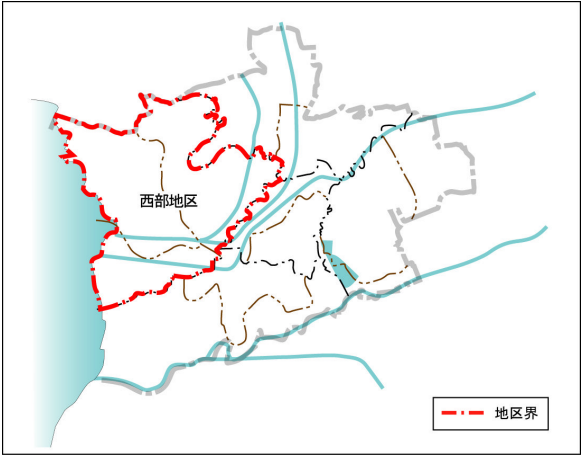
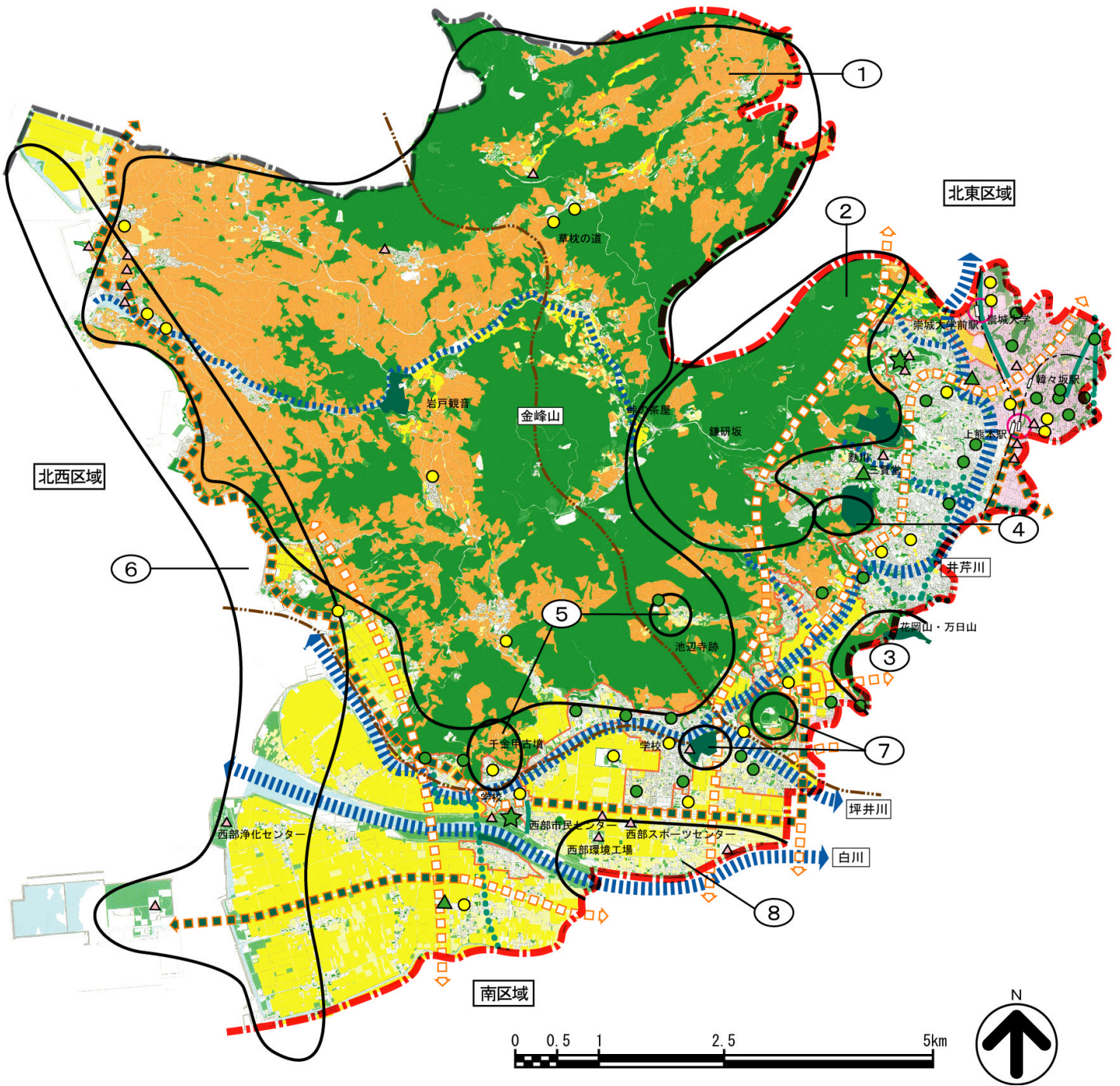
金峰山を背景に、熊本港の緑地を確保するとともに、背後地の水田の保全、連続する幹線道路の緑化、河川沿い緑地の活用等を図り、海の玄関口から連なる緑の街を創ります。

西 1	金峰山一帯の樹林地の保全と活用
西 2	本妙寺山風致地区内の樹林地の保全と花園島崎の緑の街づくり
西 3	花岡山万日山風致地区内の樹林地の保全
西 4	石神山公園の整備
西 5	千金甲、池辺寺跡の史跡の保全
西 6	都市軸となる幹線道路の街路樹の整備と育成 (   は街路樹のない区間)
西 7	白川河口の緑地の活用と中小河川の親水空間の整備
西 8	海岸線の緑の保全と親水性の確保
西 9	独鈷山、城山に残存する樹林地の保全
西 10	白川沿いの農地の保全

住区基幹公園	
	街区公園
	近隣公園
	地区公園 ※1,000平方メートル以上を図示
	街路樹の整備と育成 (     は街路樹のない区間)
	学校の緑化推進
	公共施設の緑化推進
	緑の少ない校区の緑化推進
	交差点・駅周辺などの緑化推進
	良好な樹林の保全 (現況) 環境保護地区 6.5ha 保存樹林 0.8ha 保存樹木 140本
	水田
	畑地
	果樹園
	農地の保全と活用

地区の現況

本地区は金峰山及びその外輪山からなる変化に富んだカルデラ地形や有明海がつくる良好な自然環境を形成しています。金峰山の西側は比較的緩やかな斜面が広がりミカン等の果樹栽培が行なわれています。また、東側は杉や檜の人工林やクヌギ・コナラ等の二次林が広がり、野鳥等、多様な動植物の生息生育の場となっています。さらに、麓には住宅地が広がり山地の緑や屋敷林を背景に緑豊かな街並みが形成されています。



凡例	
	使用している住区基幹公園以外の都市公園
	草地
	水域
	市域
	地区界
	区域界
	市街化区域界